

令和5年度 大糸線活性化協議会 総会 会議録

日	令和5年5月24日	時間	13:30~14:20	場所	ヒスイ王国館2階 勾玉
件名	議案第1号 令和4年度事業報告について 議案第2号 令和4年度収入支出決算について 議案第3号 令和5年度事業計画について 議案第4号 令和5年度収入支出予算について 議案第5号 役員の改選について				
出席者 (敬称略)	1 出席者 出席者名簿のとおり 2 事務局 産業部：大嶋部長 都市政策課：五十嵐課長、内山課長補佐、渡辺係長、室橋主査、竹田主任主事、 西山地域おこし協力隊 商工観光課：関澤課長補佐				
会議要旨 1 開会（13:30） 2 あいさつ (会長) 米田糸魚川市長 (鉄道事業者) 漆原金沢支社長（JR西日本） (同盟会会長) 牛越大町市長 (沿線首長代表) 丸山白馬村長 3 議事 米田会長が議長として進行する。 ■議案第1号・議案第2号 【事務局】議案第1号・議案第2号について説明 議案第1号 令和4年度事業報告について、概要を説明する。 令和4年度に当協議会にて実施した事業を時系列に記載している。 別冊「総会資料」の7ページ以降には、事業計画順に事業の概要や実績などの詳細を掲載しているの ので、後ほどご覧いただきたい。 まず、令和2年12月から募集した「大糸線応援隊」について、昨年度末での隊員数は2,761人となっており、直近では5月22日時点で2,944人となっている。 4月に担当者会議、5月に幹事会と総会を開催し、令和4年度事業計画、予算等の承認をいただいた。 6月1日から、大糸線定期券購入費の一部助成の申請受付を開始し、申請件数は19件。 同6月1日から大糸線利用促進事業助成として、大糸線に乗るイベントに対しての助成を実施し、申請件数は39件と、令和3年度実績の3件より大きく伸びている。 8月20日には「大糸線全線開通65周年記念事業」として、キハ52ヘッドマークの除幕式と走行車両3台へのヘッドマークシールおよび窓シールの設置、列車の出発式を行った。					

このシールは今年3月の27日まで設置していた。

9月～11月の計5日間、サイクルトレインを実施し、糸魚川発着と南小谷発着を1往復ずつ運行した。天候の影響もあり便によって参加者に波はあったが、5日間で計28名の方から参加をいただいた。

同9月～11月にはえちごトキめき鉄道と北越急行との共催でコラボラリーを実施し、大糸線沿線では南小谷駅にスタンプ台設置のご協力をいただいた。

また、このコラボラリーと同期間、「幼児切符(とくべつきっぷ)」を糸魚川・小谷・白馬・大町の保育園を通じて配布した。実績は賞品受渡し数として549人となっている。

10月15日にはこども車掌体験を実施し、糸魚川発と南小谷発を各2便運行した。沿線及び大糸線応援隊員の親子を対象に参加者を募集し、親子17組34名が参加した。

11月20日には、初めてとなる大糸線応援隊ファンミーティングを、姫川温泉を会場に実施し、全国の応援隊員11名の方からご参加をいただいた。当日は食事と温泉を楽しんでいただき、ファンミーティングでは「大糸線の利用促進のために、大糸線応援隊として取り組めること」をテーマに活発な意見交換をいただいた。

翌週、11月26日には、大糸線全線開通65周年記念事業として雪月花の大糸線乗り入れを実施し、糸魚川～南小谷間は雪月花、南小谷～長野間はリゾートビューふるさと、長野～糸魚川間は北陸新幹線に乗り換えるツアーを実施した。小谷村大糸線振興会議や大糸線利用促進輸送強化期成同盟会、大糸線ゆう浪漫委員会からも協力いただき、糸魚川駅での出発式の他、沿線駅でのおもてなしを実施し、ツアーに参加された方から大変喜んでいただいた。

11月～12月の間には、大糸線に乗って温泉巡りをしていただく、大糸線「鉄道×温泉」湯めぐり手形すたんぷらりいを実施した。糸魚川～南小谷間の列車スタンプ1個と温泉スタンプ2個を集めて応募していただき、オリジナルタオルをプレゼントした。

12月にはイベント助成および情報発信の補正予算を議案とする臨時総会を開催し、糸魚川市・小谷村それぞれ100万円の負担金の追加について承認をいただいている。

12月8日には大糸線の情報発信をミッションとした地域おこし協力隊を糸魚川市にて採用し、翌1月10日から大糸線活性化協議会のInstagramでの情報発信を強化している。昨年度末時点で59回の投稿をしており、その時点でのフォロワー数は980人、現在は1,100人を超えている。

議案第2号 令和4年度収入支出決算について、決算額のみ説明する。

収入の部では、1負担金は、9,200,000円であり、内訳については備考欄のとおりである。

イベント助成および情報発信等の補正予算として糸魚川市と小谷村それぞれ1,000,000円が増額となっているものである。

2繰越金は、3,324,017円であり、前年度からの繰越金である。

3雑収入は、40円であり、預金利息である。

以上、収入合計は、12,524,057円となっている。

支出の部では、1会議費は、40,967円であり、総会開催のための経費である。

2事務費の支出はない。

3事業費は、7,761,341円であり、主なものとして、湯めぐり手形事業に643,690円、雪月花大糸線乗入運行などの企画列車に1,633,901円、大糸線応援隊事業に573,684円、大糸線全線開通65周年記念のアイテム製作等に1,542,992円、イベント助成に2,442,712円 等

となっている。

4 予備費の支出はない。

以上、支出合計は、7,802,308 円となっている。

収入金額 12,524,057 円から支出金額 7,802,308 円を差し引いた 4,721,749 円については、翌年度へ繰り越しとする。

【監事】 会計監査について報告

【質疑応答】 なし

議案第 1 号・議案第 2 号は承認された。

■議案第 3 号・議案第 4 号

【事務局】 議案第 3 号・議案第 4 号について説明

議案第 3 号 令和 5 年度事業計画について、説明する。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響から実施できなかった事業もあったが、コロナの状況も落ち着いてきたことから、今年度は積極的に利用促進に取り組み、鉄道事業者との協働・協力、関係自治体・関係団体との広域連携を活かしながら、直接「乗り」につながる事業を展開していきたいと考えている。

「1 会議の開催」については、協議会の規約にある総会と幹事会のほか、必要に応じて担当者会議も開催する。

「2 生活利用の促進」では、「(1) 潜在利用者への働き掛け、新規利用者の開拓」として、沿線住民への大糸線利用促進の情報発信、大糸線の糸魚川駅から南小谷駅間の定期券購入費の一部助成を引き続き行う。

「3 観光利用の強化」では、「(1) 沿線の観光魅力や集客力の創出と向上」として、大糸線を利用して沿線の温泉施設をめぐる「湯めぐり手形」事業、大糸線を利用した観光モデルコースの作成を引き続き行う。「(2) 沿線の観光魅力の情報発信」として、大糸線応援隊の隊員に協力いただきながら、ホームページや SNS などを利用して、大糸線関連の情報発信を行う。「(3) Hakuba Valley と連携した観光振興」として、旅行会社の大糸線の乗車が含まれるツアーの企画・広告宣伝を引き続き行う。「(4) 訪日外国人の誘客促進や鉄道ファンの取り込み」として、えちごトキめき鉄道及び北越急行と連携したスタンプラリーを引き続き行う。大糸線応援隊事業については、隊員からのアイデアもいただきながら、ファンミーティングの開催や駅の環境整備、花苗の植栽などを計画している。大糸線ノベルティの製作については、イベント参加者等へ配布するノベルティグッズを製作する。「(5) 車両自体の観光魅力や輸送サービスの創出と向上」として、企画列車については、サイクルトレインや子ども車掌体験、雪月花の大糸線乗り入れなど、鉄道事業者や関係団体と調整して取り組む。また、北アルプス日本海広域観光連携会議と連携し、サイクリストが列車内に自転車を持ち込む際に使用する輪行バッグ貸出しの取組を引き続き推進する。合わせて、新規事業として、小谷村大糸線振興会議との連携により、中土駅のリニューアル事業等を計画している。

「4 地域連携・協働」では、大糸線乗車を条件としたイベント等への助成を、引き続き行う。

「5 その他」では、「事業計画の確認・振り返り」としまして、事業実績や平均通過人員などにより、事業計画の振り返りを行いたいと考えている。

なお、別冊「総会資料」の 22 ページから 25 ページに、事業計画の概要を掲載しているの

で、後ほどご覧いただきたい。

議案第4号 令和5年度収入支出予算について、予算額のみ説明する。

収入の部では、1負担金は、7,200,000円を計上しており、内訳については、備考欄に記載のとおりである。

2繰越金は、4,721,749円を計上しており、前年度からの繰越金である。

3雑収入は、251円を計上しており、預金利息等である。

以上、収入合計は、11,922,000円となっている。

支出の部では、1会議費は、50,000円を計上しており、総会等の開催経費である。

2事務費は、50,000円を計上しており、内訳については、事務用消耗品代等である。

3事業費は、11,800,000円を計上しており、内訳については、備考欄に記載のとおりである。

4予備費は、22,000円を計上している。

以上、支出合計は、11,922,000円となっている。

なお、事業計画、執行状況等に応じて、科目間の予算流用ができるものとし、次年度の総会開催時までの経費の執行については、会長に一任願いたいものである。

【意見】

(会 員) 令和5年度の事業計画のところにあたるかと思うが、今年度北陸新幹線の敦賀延伸が予定されている中で、大糸線活性化協議会としても何らかの形で、敦賀延伸を見据え、大糸線の観光利用を図るための誘客活動、首長が現地へ行って利用促進の訴えを行うことも大切なのではないかと思う。日程的なところはこれからになるが、これも含めて協議いただければと思い、提案させていただく。よろしく願います。

(会 長) 議案第3号について冒頭の事務局の説明にもあったが、新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行したことは大きな事柄であるし、今ほどの中村村長の話にもあったように北陸新幹線の敦賀延伸というのも大きな変化である訳なので、事業計画の中にある事業といかに繋げていくか、連携していくかが当協議会の大きな活動になるかと思う。

議案第3号・議案第4号は承認された。

■議案第5号

【事務局】 議案第5号について説明

議案第5号 役員の改選について、説明する。

現行役員の任期2年満了に伴い、新たに役員を選出するものであり、会長1名、副会長1名、監事2名を選出いただきたいものである。

選任については、事務局一任の声。

【事務局】 事務局案を説明。

会長には、米田糸魚川市長、副会長には、中村小谷村長、監事には、太田新潟県交通政策局長、小林長野県企画振興部交通政策局長を、いずれも再任にて提案する。

【質疑応答】 なし

議案第5号は承認された。

4 その他

【意見】

(会 員) 先ほど話があったように北陸新幹線の敦賀延伸に関して、今ほどお認めいただいた予算の中で、駅頭でのPR活動や関西方面からの誘客について事務局にて検討いただきたい。来年は開業を目指して、また開業を祝して、北陸3県ではデスティネーションキャンペーンが実施されると聞いている。そういった点も含めてしっかりと取り組みを進めることが何よりも大事だと思っているので、よろしくお取り扱いをお願いします。

(会 長) 大糸線活性化協議会でも協議会のみでなく関連する団体や組織と連携しながら一体となって活動・行動をしないといけないと思っている。両県に跨る話でもあるので、県の皆様方、JR西・東の皆様含め一体となって取り組めるよう努力していきたいし、皆様からもご尽力賜りたい。

(会 員) 先日富山県が大阪駅でPRを実施した。弊社としても協力できる部分はしっかり対応していきたいし、関西方面と福井エリア含め、どこでのPRが効果的か検討し対応していきたい。

(会 長) 県が違う組織が違うということではなく、活性化協議会として加わって良ければ参画をしたいので情報提供いただきたいし、組織間の繋ぎについてもよろしくお願いたい。また、JR西として実施するイベント等があれば情報をいただき、加えていただけるようであればぜひ参加させていただきたい。

5 閉会あいさつ

(副会長) 中村小谷村長

閉会 (14:20)

以 上